

2024年2月16日
社会医療法人生長会 府中病院

府中病院を利用される患者の皆様へ

府中病院手術室では、手術を受ける患者さんの安全・安楽を考え、様々な取り組みを行っています。特に、腹臥位という、うつ伏せでの手術体位は発赤などの皮膚トラブルに見舞われるケースが多く、特殊体位に分類されます。そこで、臨床研究の一環として、診療録（カルテ）や手術中の情報、血液検査データ等を利用して、臨床研究を行っています。このような研究は厚生労働省が示している「臨床研究に関する倫理指針」に則って行うものであり、また府中病院の倫理委員会の承認を受けたものです。研究を行うに当たっては個人情報の取り扱いについては細心の注意を払うことから患者さんの不利益になることはありません。特に患者さん個人を特定できるような情報は全て誰かわからないように符号化されます（匿名化といいます）。また、研究によって得られた結果は学会発表や論文などの手段によって公開する予定ですが、研究以外の目的には使用しません。研究を実施することでひとりでも多くの患者さんが安全安楽に腹臥位での手術を受けていただけることが期待できると考えておりますのでどうぞご理解とご協力をお願いいたします。

研究課題：腹臥位手術時の術後皮膚トラブル発生要因の調査

研究対象：2021年4月から2023年4月までの期間に、全身麻酔下の腹臥位脊椎手術を受けた方

研究実施期間：2024年5月31日まで

研究責任者：府中病院 手術室・中央材料室 小林 千鶴

詳しい情報をお知りになりたい方は、下記担当者までお問い合わせください。またご協力いただけない場合には、結果の公開前であれば対応いたしますので、遠慮なく申し出てください。

連絡先：社会医療法人 生長会 府中病院 手術室・中央材料室

電話：(代表) 0725-43-1234 (担当：小林 千鶴)